

まちなか紅葉まつり

まちなか活性化協議会（吉澤信光会長）主催のまちなか紅葉まつりは10月8日、JRバス葛巻駅構内で開催され、たくさんの来場者でにぎわいました。

オープニングでは、馬淵川源流太鼓の皆さんによる力強い太鼓が披露され、会場を活気づかせました。

吉澤会長は「次から次へといろいろな企画を準備しています。ゆっくりと歓談し、楽しい一日を過ごしてください」とあいさつ。買物券が当たるお菓子まきやざるそば600円の早食い大会、「そばがき」300食が無料で振る舞われるなど、さまざまな企画に会場は大いに盛り上がりました。



オープニングを飾った馬淵川源流太鼓の皆さん



会場を沸かせた「ざるそばの早食い大会」



「そばがき」の無料整理券の配布に並ぶ来場者たち

くずまき高原 森林の恵みフォーラム

小学校での取り組みについて発表する江刈小学校の児童たち



江刈小学校（金沢卓司校長、児童30人）の児童は、10月7日に行われた第13回くずまき高原森林の恵みフォーラムで「森林愛護活動」と題して、森と関わる3つの学校行事（育樹祭、学校林遠足、森林の恵みフォーラム）についての活動報告を行いました。

それぞれの取り組みで学んだことや感想を分かりやすく堂々と発表し「これまでの活動を通じて、町産材をふんだんに使用した校舎の木材のことなどを学び、木が身近なものになった。森林に感謝して大切にしていきたい」と感想を述べました。

活樹祭

10月7日、町森林組合（中崎和久組合長）主催の第6回活樹祭は、葛巻小学校（藤村一夫校長、児童121人）の5年生とその保護者が参加して「こいの森」で行われました。

参加者たちは、のこぎりを使って木を切り倒す間伐作業を体験。慣れない道具の扱いに四苦八苦しながらも、作業員からコツを教わり、木の倒れる方向を考えながら懸命に取り組んでいました。

作業が終盤を迎えると「倒れるぞお」の合図と共に木がメキメキと音を立てて倒れてきました。その迫力に、子どもたちは「お〜」と驚きの声を上げていました。

今後は、自分たちが間伐した木をどのように加工し活用できるかを話し合い、体験を通じて林業についての学びを深めます。



のこぎりでも木を切り間伐体験をする葛巻小の児童

※薪・牧・巻トリプルまきフェスタは「全日本薪積み選手権大会」「くずまき高原森林の恵みフォーラム」「活樹祭」で構成されています。

作業後は、森のこだま館に移動。きのこなど秋の味覚が詰まった芋の子汁やまきで炊いたご飯などを堪能し、雨で冷えた体を温めました。

午後は、機械を使ったまき割りを体験。瀧澤慶次郎くん（吉ヶ沢小2年）は「木が簡単に割れるところが楽しかったです。またやってみたくて」と何度も挑戦していました。



機械を使ってまき割りを体験する児童



声を掛け合いながらまき運びを体験する子どもたち

全日本薪積み選手権大会

町産業振興協議会（会長・鈴木重男町長）主催の第6回薪積み・薪づくりコンテストの審査が9月26日に行われ、10月8日には、JRバス葛巻駅構内で開催された第10回全日本薪積み選手権大会の中で審査結果が発表されました。

また、全日本薪積み選手権大会では、5分間で高さを競う個人の部に9人、3人一組で「くずまき」をテーマに芸術性や安定性、通気性を競い合う団体の部に8チームが参加しました。

なお、それぞれの結果は、右表のとおりです。



力を合わせて「くずまき」を表現した団体の部



高さを競う個人の部で審査を待つ参加者

■薪積み・薪づくりコンテスト審査結果

区分	名前	地区
最優秀賞	鈴木 義孝さん	平船
優秀賞	外久保 篤雄さん	垂柳
優秀賞	(一社)葛巻町畜産開発公社	土谷川

■薪積み競技結果 (団体の部)

順位	名前	作品名
1	(株)永和 (東京都)	くずまきの木
2	小岩金網(株) (東京都)	袖山 (森林)
3	いわて生協B	スマイル
ファミリー賞	いわて生協C	牛とログハウス

■薪積み競技結果 (個人の部) 男性

順位	名前	高さ
1	吉澤 靖博さん (薬 樹)	136cm
2	松下 智弘さん (振興局)	123cm
3	池田 亮さん (生 協)	109cm

■薪積み競技結果 (個人の部) 女性

順位	名前	高さ
1	佐々木 美空さん (生協)	139cm
2	関 祐子さん (生協)	125cm
3	一盃森 正子さん (生協)	119cm

薪・牧・巻トリプルまきフェスタ

森林の恵みを満喫